

○奈良教育長 教育委員会協議会を開会いたします。

まず、教育委員会の活動状況について、事務局から報告をお願いします。

乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 教育委員会の活動についてご説明いたします。

お手元にごございます教育委員会の活動状況資料をごらんください。

5月25日から6月24日までの活動状況について、記載しておりますとおり、内容としましては、活動日、活動内容、活動場所、活動出席委員名を記載しております。

以上、簡単ではございますが、教育委員の活動の説明とさせていただきます。

○奈良教育長 続きまして、委員の活動について、所感の報告をしたいと思います。

それでは、委員を代表して橋野委員から報告をお願いします。

○橋野委員 大阪北部地震が発生し、大阪では観測史上初の震度6弱を枚方でも記録し、10日がたちました。またあの揺れが来るのではないかと、まだまだ不安の日々を過ごされている方も多いと思います。被害に遭われた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

6月23日に、地震後に、慌ただしい中ではあったのですが、菅原東小学校のオープンスクールを訪問させていただきました。

地震による管理棟との間の亀裂や破損した場所を応急処置として模造紙で目隠しをし、児童の不安を少しでも和らげる配慮がしてありました。保護者の方々が、教室にも廊下にもたくさんおられ、皆さん、校長先生にあいさつをされ、校長先生と一緒にいる私にも笑顔であいさつをしていただきました。

1年生の授業は、全5クラス、教科化された道徳で、児童は朗読をされている先生のほうをしっかりと向き、自分の考えを発表していました。どのクラスも統一され、授業に差の出ないように工夫されていました。また、宿題の量も、学年でそろえて出されているようでした。保護者としては、クラスによって授業の進み具合や宿題の出し方を気にされている方も少なくありません。そういった細かいところにまでしっかりと配慮ができている学年だと思いました。

次に、前後するのですが、毎年拝見させていただいている山田小学校のオープンスクールに本年度も行かせていただきました。

校長先生の手腕を発揮していただき、随分学校の様子も変わってきたように感じました。学校に行けなかった児童たちが、学校に来られるようになり、不登校の児童が少なくなったことを伺いました。校長先生をはじめ教職員での学校全体のチームワークの良さが、今回行かせていただき、改めて実感させていただきました。

ですが、残念なことに、まだ講義型の授業もあり、緊張されているのか、私が見ている間は、机間指導もない授業もありました。少し残念でした。

次に、山田中学校の体育祭にも行かせていただき、雨が降りそうなので、一度学校に登校してから枚方市陸上競技場まで列になってみんなで歩いて向かいました。

しっかりあいさつのできる生徒が多く、車が通るときも、生徒同士で声を掛け合いなが

ら、心配りができていました。雨が降り始め、雨の中での開会式が始まったのですが、誰一人嫌がる様子もなく、体育祭を楽しんでいました。本来なら、毎年校区の小学生も出場する場も設けているようなのですが、さすがに今回はなくなってしまいました。体育の授業でしか体をしっかり動かさない子どもたちが近年では増え、1人1人の運動能力が変わる中で、体育祭で苦手なことを苦手なままにせず、何か少しでも楽しめるようにと工夫がしてありました。

最後に、以前から少し気になっていた電話対応の必要性について、もう少しお話しさせていたいただきたいと思います。

保護者は、確認したいことや不安な気持ちを学校や教育委員会のほうに電話を掛けてこられます。電話では、相手の顔が見られません。緊張することもあります。伝わりづらいこともあります。昨年の初任者研修では、電話対応の必要性の中で、話が終わり、受話器を置くときの指導までしていただきました。話の内容に納得ができればいいのですが、納得ができないままに話が終わり、ガチャンと受話器を置かれれば、相手にとってはかなりのストレスになってしまうこともあります。その1回の対応で、次、また相談したいと思うことがあっても、なかなか相談ができなくなることもあります。

保護者からの発信をしっかりと受け止めていただいている学校では、やはり子どもたちも落ち着き、教職員の連携も取れて、良い雰囲気の中で子どもたちの居場所ができていのように感じました。

お忙しいとは思いますが、もう少し温かい対応を心掛けて接していただければ幸いです。と思いました。

以上です。

○奈良教育長 ありがとうございます。それでは、事務局からの報告案件ですが、案件1について説明をお願いします。

乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 それでは、教育に関する事務の点検及び評価について、ご説明させていただきます。

はじめに、点検及び評価の実施方法についてご説明させていただきます。

協議会資料をごらんください。

まず、1. 趣旨でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年教育委員会の会議の開催状況、事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用し、点検評価を行う必要があります。

この度、平成29年度主要事業につきまして、教育委員会内で自己点検・自己評価した内容の案をまとめましたので、これを学識経験を有する点検・評価委員にお示しし、意見を聞くものでございます。

2. 内容につきましては、別紙「教育に関する事務の点検及び評価報告書(案)」のとおりでございます。

それでは、内容につきましてご説明いたします。

まず、前年度の点検評価に係る資料からの主な変更点をお伝えいたします。

昨年度の点検評価員会議及び市議会から、記述内容の見直しや表記について、簡潔で分かりやすくするなど、報告書のあり方のさらなる改善等のご意見を踏まえ、平成30年度の点検評価から、これまで独自に点検評価シートを作成していたものを、市の全ての事業を網羅している事務事業実績測定と項目を合わせて、記載内容の統一を図るとともに様式の変更を行いました。

それでは、2ページをごらんください。

評価結果でございますが、こちらは教育委員会の自己点検評価を4段階評価しました結果をお示ししております。平成29年度主要事業につきましては、「達成」が36件、「おおむね達成」が25件、「未達成だがその方向に進んでいる」が4件となっております。

評価結果の内訳でございますが、基本方策ごとに主要事業の評価を一覧表としてお示ししています。

評価を実施した事業数でございますが、昨年度47事業のところ、今年度は65事業となっております。これは、事務事業実績測定調査をもとにしたことで、昨年度は1つの事業に含まれていた内容が別の事業として分けて記載されていることによるものでございます。

また、評価根拠について、根拠を明確にするために、達成割合に応じて基準を明確に示すように変更しております。

次に、5ページをごらんください。

基本方策を具体化する平成29年度主要事業についてご報告させていただきます。

まず、点検評価の構成につきましては、ページの最上段に基本方策の名称、次に教育振興基本計画に記載している取り組みの方向性で、方向性の中で下線の箇所に該当する主要事業の名称を記載しております。その名称の下に、主要事業の概要と実績を掲載しております。

次に、主要事業の担当課と、事業費の総計、実績値及び目標値の説明、平成29年度の実績値、目標値及び達成割合を掲載しております。この目標値は、29年度当初の目標値を記載しております。また、達成割合は、実績値を目標値で割った割合を達成割合としております。そして、一番右側に、各担当課が自己評価を記載しております。この評価については、達成割合に応じて評価しており、その詳細につきましては、4ページの上段にあります(3)評価基準に記載しております。

その評価が「未達成だがその方向に進んでいる」又は「未達成」となった事業については、各基本方策の最後に、未達成事業への対応という項目があり、未達成の理由と、今後どのような対応をするかなどの方向性を記載することにさせていただいております。

また、機構改革等により作成時点の基本方策に記載されていない事業については、その他の主要事業として最後に記載しております。基本方策1、5ページから、その他の主要事業、39ページまで記載しております。

各事業の詳細の説明は、省略させていただきます。後ほどご意見やご指摘等がございましたら、よろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、点検評価の構成の説明とさせていただきます。

報告書の最後、41ページから、枚方市教育委員会の平成29年度の活動の概要につきまして記載しております。

協議会資料にお戻りください。

3. 今後の予定といたしましては、本日いただいたご意見も踏まえ、自己点検・自己評価内容を確認した上で、点検評価員による会議を7月に2回から3回程度開催してご意見をいただき、報告書としてまとめたものを8月の教育委員会に提出し、確定していきたいと考えております。

また、市議会への報告につきましては、9月議会前の文教委員協議会で報告し、その後ホームページや「枚方の教育」にて市民への公表を予定しております。

なお、今回の点検評価に係る教育委員会事務局内の詳細なスケジュールですが、教育委員の皆さまから7月2日までにいただいた意見と、各課は並行して7月3日までに修正を行い、7月4日の教育政策会議に教育委員の皆さまに修正案の説明と確認を行いまして、7月5日に再修正を実施し、7月6日に教育長、教育次長への説明と確認をした後、点検評価員へ送付する予定となっております。

以上、簡単ではございますが、教育に関する事務の点検及び評価についての説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○奈良教育長 この件について、ご意見、ご質問等ありますか。

谷元委員。

○谷元委員 今回、点検評価の方法を改善されて、非常にコンパクトにまとめられたなというふうに感じています。

その中で、作成スケジュールが8カ月から3カ月に削減されたということを知りました。1年間というスパンの中で作成は3カ月ということは分かりますが、進捗状況がどうなのかなど。そういったことを見ていく必要があると思うのですが、その辺りはどのようにお考えですか。

○奈良教育長 乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 進捗状況につきましては、昨年と同様に報告させていただきたいと考えております。

○奈良教育長 他にご意見、ご質問等ありますか。

谷元委員。

○谷元委員 指標の目標値は、どのように決めておられるのか、例があれば例を挙げて教えてください。

○奈良教育長 乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 例えば、7ページ、④「学校ICT機器等整備事業」については、国

の第2期教育振興基本計画で示されている考え方と併せて、実行計画に基づき整備する授業用パソコン1台当たりの児童生徒数と制定しております。また、5ページ、①「小中一貫教育推進事業」や、6ページ、②「学校園活性化事業」は、本市の学力状況や事業改善の状況について、国の調査を踏まえ、全国水準との比較として平均以上を目標値としております。

ほかに、7ページ、⑥「英語教育推進事業」は、英語を使った体験的な学習を通じて、英語によるコミュニケーション能力を育成する取り組みを実施しているため、アンケート調査の項目の満足度を目標としております。

○奈良教育長 他にご意見、ご質問等ありますか。

神田委員。

○神田委員 今、ご説明ありましたその目標値なのですが、それぞれの例を挙げさせていただいたのですが、いわゆる主観的なデータと客観的なデータと両面あるかと思えます。そのような中で全体を見ますと、特に客観的なデータについては、国及び全国のデータを基にされているなど思っています。その辺のこれは、ひとつ大きな、新しく替えられた中でのポイントかなと思っています。

その中で、具体的な基本方策1からちょっと質問なり意見を申し述べたいと思います。

基本方策1、①「小中一貫教育推進事業」ですが、3点挙げていただいているのですが、右の実測値及び目標値の説明のところ、全国学力・学習状況調査の質問値調査の平均正答率、正答率と、被っているところがあるのですが、この実績値を読みますと、これは全国学力テストの平均正答率ではなからうかと思うのです。そうすると、説明のところ、私は、学習状況調査は入れる必要はないかなと思っています。全国学力・学習状況調査ともいいますが、この項目でいえば、全国学力テストの平均正答率のほうがいいのではないかなと思うのですが、その辺はどうでしょうか。

○奈良教育長 黒田教育指導課長。

○黒田教育指導課長 ご指摘いただきましたことも踏まえまして、修正のほうを検討したいと思います。

○奈良教育長 他にご意見、ご質問等ありますか。

谷元委員。

○谷元委員 基本方策を今言われましたけれども、私も基本方策1、②「学校園活性化事業」についてお聞きします。

学校園活性化の予算を活用した研究授業です。ほかにも予算を活用しているものがあると思うのですが、研究授業は、幼稚園、小学校、中学校、それぞれ平均してどれくらいの回数を行ったのか、教えていただきたいと思えます。

○奈良教育長 黒田教育指導課長。

○黒田教育指導課長 講師を招へいしました研究授業につきましては、小学校で平均2.3回、中学校で1.4回となっております。

- 奈良教育長 谷元委員。
- 谷元委員 この予算を活用したものを今聞きましたら、小学校で2.3回、中学校で1.4回ということですが、これは府の中ではどれくらいの平均ですか。多いのか、少ないのか。全国的に見れば、これは回数としてはどうなのですか。
- 奈良教育長 黒田教育指導課長。
- 黒田教育指導課長 府及び国との比較という数字については、またお調べして、お示しさせていただきます。
- 奈良教育長 谷元委員。
- 谷元委員 今国立教育政策研究所のほうから千々布先生に来ていただいて、この間も滋賀のほうで講演があったのですけれども、その中で、大阪府の学校の研究授業の回数であるとか、質とか、内容が、全国的に見て圧倒的に低いレベルであるということをおっしゃっていました。授業改善を図っていくためには、もちろん回数だけではないとは思いますが、こういったことを含めた、予算を活用した研究授業あるいは公開授業等をもっと活発にやっていただきたいなというふうに思いますので、よろしくをお願いします。
- 奈良教育長 他に、ご意見、ご質問等ありますか。
神田委員。
- 神田委員 7ページ、⑥「英語教育推進事業」なのですけれども、これは主観的といえますか、アンケート調査で目標値の説明が、英語の授業が楽しいと答えた児童・生徒の割合ということですが、英語の授業ということですので、児童・生徒と書いているのですけれども、これは生徒というふうに捉えたらいいのでしょうか。
- 奈良教育長 黒田教育指導課長。
- 黒田教育指導課長 アンケートにつきましては、生徒でお願いいたします。
- 奈良教育長 神田委員。
- 神田委員 意見なのですけれども、概要もそうなのですが、中学校へのNET配置、小学校へのJTE配置の事業であるということからすれば、小学校は今年度から教科化に向けて進んでいるのですが、昨年度までは外国語活動、6年生ということだと思うのですけれども、枚方市はかなりJTEを入れている中で、児童のいわゆる外国語活動の授業が楽しいかどうか、こういうものも、今年度は難しいかどうか分かりませんが、今回は中学校だけなのですけれども、小・中学校を分けて入れないと、来年度を含めて、今年度は可能だったら、そういうものの入れられたらどうでしょうか。
- 奈良教育長 黒田教育指導課長。
- 黒田教育指導課長 ご指摘など踏まえまして、検討したいと思います。
- 奈良教育長 他に、ご意見、ご質問等ありますか。
谷元委員。
- 谷元委員 少し飛んでもよろしいでしょうか。
基本方策3のことをちょっとお聞きしたいのですけれども。

14ページの基本方策3、①「枚方市教職員育成事業」についてお聞きします。

先ほどもちょっと、校内研修のことを聞きましたけれども、教員の授業力の向上を図るために、現在枚方市のほうでは指導主事と教育推進プランナーが連携して、大学等から講師を招へいし、事前授業を行ったり、あるいは指導案作成に指導、助言を行ったりしていると聞いています。「校内研究支援」をこの中で203回実施したとありますが、何校くらいの小・中学校が、このような連携した校内研究授業を行ったのか、教えていただきたいと思えます。

○奈良教育長 木村教育研修課長。

○木村教育研修課長 校内研修支援といたしましては、小学校で11校、中学校で2校、合計13校で実施しました。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 枚方市には小学校は全部で45校あって、中学校は19校あるわけです。その中で小学校11校、中学校2校ということは、203回という支援は多いと思うのですが、学校としての割合とかというのは、やはり少ないのではないかなど。これも先ほど言いましたけれども、府や国と比べてどうなのかなどということを感じます。

授業力向上を図っていくために、もちろん回数ではないのですが、学校が活発に研究に取り組んで、児童生徒の学力向上を図っていくために、連携した支援を行っていただきたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

○奈良教育長 木村教育研修課長。

○木村教育研修課長 ありがとうございます。今後、回数も含めまして、対象校数、それから内容につきまして、検討、精査してまいりたいと思います。

○奈良教育長 他に、ご意見、ご質問等ありますか。

神田委員。

○神田委員 ちょっと戻りますけれども、基本方策1の8ページなのですが、⑨「放課後自習教室事業」についてなのですが、これについては年間80回開設、1校当たり週に3回程度ということで、5,699回。目標値5,120回を上回っているというような達成ということなのですが、小学校は3,816回、中学校が1,883回ということになっています。これは、単純に学校数で割りますと、小学校が85回くらい、中学校が99回となっているのですが、実際、中学校は部活動があつて、この1,883回が実施された場合、それぞれ参加人数がやはり問題になってくると思うのです。この概要の最後に、「児童生徒の自ら学ぼうとする力の育成と、基礎力の定着を図る」ということですので、すぐこれで定着を図れるとは言えませんけれども、回数で一応これは達成ということになっているのですが、参加人数というのはどうなのかがポイントだと思うのです。どうか、小・中学校、それぞれ。おおむね、平均が分かれば結構です。

○奈良教育長 黒田教育指導課長。

○黒田教育指導課長 申し訳ありません。具体的な数字のほうは、今持っておりません。

中学校につきましては、ご指摘のとおり、部活動があることで、実際に対象として参加してほしい生徒が参加できていないという状況もございますので、その辺り、各学校で工夫を検討しているところでございます。

○奈良教育長 他に、ご意見、ご質問等ありますか。

神田委員。

○神田委員 基本方策5の幼児教育の自立ということで、18ページなのですが、これについては、①「幼稚園保護者支援充実事業」ということで、預かり保育と幼児教育教室を実施していただいているということなのですが、この預かり保育が988回、幼児教育教室が508回ということで、トータル1,496回で実績100%。ここに保護者のニーズ、申し込みに対する幼児教育教室及び預かり保育の保育実施数ということで、この保護者のニーズ、申し込みが全てそれに応えたということで100%になっているのですが、預かり保育なら月・火・木・金だと思のですが、その預かり保育全部に対して100%という捉え方になっているのですが、実際保護者はどうなのかなということは、思うところがあります。

保護者のニーズ、もっと言えば、例えば水曜日などが午前中で終わっていますから、午後に預かり保育をしてほしいとかいうニーズがあるかも分からないです。この辺はカウントしないで、ただ月・火・木・金のニーズということで捉えていると思うのです。この100%というのは、どうでしょうか。

○奈良教育長 黒田教育指導課長。

○黒田教育指導課長 預かり保育につきましては、入園児童を対象としておりまして、100%近い保護者が活用をされております。今、ご指摘がありました利用者ニーズに関しましては、利用者にアンケートを取るなど、事業の成果を図ることのできる指標について、今後検討していきたいと考えております。

○奈良教育長 神田委員。

○神田委員 これはこういう形で評価されているということで、今年度はこうだと思のですが、以前市長との総合教育会議の中で、預かり保育の実施率、保護者の入園率に対してということですが、大体20%、30%以内くらい前後の保護者の利用率だったと記憶しているのですが、私はもっと保護者は預かり保育にあるかなと思っていたのですが、この辺は実際そういうことだったので、すけれども。

先ほど申しましたが、今後やはりこの辺の預かり保育のあり方についても、また考えていく必要があるかなとは思っています。その辺をちょっと意見として述べておきます。

○奈良教育長 他に、ご意見、ご質問等ありますか。

神田委員。

○神田委員

セーフティーネットの基本方策7、④「枚方市生徒指導充実事業」⑤「いじめ問題対策事業」というところなのですが、生徒指導充実事業については、大規模校といいま

すか、大きい学校3校、小規模の学校4校のところに市負担の任期付きの教員を1名ずつ、それ以外については非常勤講師を配置されていると。これについては実績値、目標値がないのですけれども、この辺は実際表しにくい面かとも思うのですが、平成25年度からこの事業が始まったと思うのですけれども、5年間を経過した中で、この生徒指導充実事業の何らかの実績値と申しますか、目標値がいるのではないかなというような思いもあります。その辺どうでしょうか。

○奈良教育長 千原教職員課長。

○千原教職員課長 この④「生徒指導充実事業」につきまして、申し訳ありません、22ページの資料の中に実績値、目標値、達成割合が入っておりませんが、今現在検討中ですので、その辺り、何か当局内のほうで再度検討して、お示しさせていただきたいと思っております。

○奈良教育長 他に、ご意見、ご質問等ありますか。

谷元委員。

○谷元委員 今のところで、⑤「いじめ問題対策事業」のことですけれども、この中に枚方学校支援チームというのがあって、弁護士、心理、福祉の専門家などが学校園に支援というチームとして行くということがあるということですが、昨年度、何回かこういうチームを設けられて行ったという回数などが分かれば、教えていただきたいなと思います。

○奈良教育長 吉本児童生徒支援室課長。

○吉本児童生徒支援室課長 申し訳ありません、今現在、その回数につきましては、集約しておりますけれども、今ちょっと手持ちではございませんので、またご報告させていただきます。

しかし、昨年度は週2回各学校園に訪問をさせていただいておりますので、おおよそ各学校1回は訪問できているカウントにはなっております。

○奈良教育長 他に、ご意見、ご質問等ありますか。

神田委員。

○神田委員 これはちょっと質問ということなのですが、27ページに基本方策8、⑤「学校給食事業」なのですが、この小中学校給食提供者数ということで、この目標値が500万549食ですよね。これは元データというのは、何が元になっているのでしょうか。

○奈良教育長 岩國おいしい給食課長代理。

○岩國おいしい給食課長代理 ご質問いただきました小中学校給食提供食数の目標でございますが、1年間の小学校45校、中学校19校を合わせました食数を、例えば運動会や授業参観の代休等といった日数を引きました日数により算出しました年間の給食提供食数を全児童数及び教職員数で掛けまして、この目標値を設定しているところでございます。

○奈良教育長 他に、ご意見、ご質問ございますか。

それでは、本件に対するご意見、ご質問はこの程度にとどめます。

それでは、本日の協議会は、以上となります。